



令和元年度
「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム in 鹿児島

**地域全体で子どもたちの学びや成長を支える
コミュニティ・スクール
～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～**

【実践発表】

**薩摩川内市立東郷学園義務教育学校における
コミュニティ・スクールの取組**

鹿児島県薩摩川内市立東郷学園義務教育学校

校長 三戸瀬 智

【 20分間の内容 】

1 東郷学園義務教育学校の校区及び学校の概要

2 東郷学園義務教育学校の教育の2大基盤
=小中一貫教育とコミュニティ・スクール=

3 小中一貫教育の実践紹介

4 学校運営協議会と学校・地域が連動した実践
=地域学校協働活動として=

東郷学園義務教育学区の紹介

臥龍梅とフルーツの里



藤川天神の臥龍梅



国重要無形民俗文化財指定
東郷文弥節人形浄瑠璃



ぶどうの栽培



東郷学園義務教育学校開校までの経過



藤川小学校



山田小学校



鳥丸小学校



南瀬小学校

平成29年3月 4校閉校

平成29年4月
5小学校がひとつに



東郷小学校



東郷中学校



平成31年4月
東郷学園義務教育学校開校！

藤原川内市立
東郷学園義務教育学校

コミュニティ・スクール（CS）指定の経緯



【本校の経緯】

東郷地域5小学校を1小学校に再編し、将来的に1中学校と合わせて新設の義務教育学校を開校するにあたり、東郷地域5地区と学校との組織的なつながりを密にし、教育活動を充実させるため、コミュニティ・スクールに！

【経過】

平成27年「東郷中学校学校運営協議会**設立研究準備会**」設置

平成28年「東郷中学校学校運営協議会」新規設置

平成29年「東郷中学校**区**学校運営協議会」新規設置

令和元年「東郷学園学校運営協議会」新規設置



東郷はひとつ
～地域ぐるみで！～

- 3部会（学習支援・環境整備・地域連携）の報告
- 小・中学校の現状報告と今後の活動への意見交換
- コミュニティ・スクール推進のための意見交換
- 東郷学園の教育計画に関する熟議
- 学校における業務改善に関する熟議 など

令和元年度 東郷学園義務教育学校の概要



【学校教育目標】

ふるさとを愛し 自ら学び 心豊かにたくましく 未来に挑む 東郷の子の育成

1 児童生徒数(人)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援	計
38	37	57	51	49	50	48	46	46	18	438

東郷学園の校訓

2 学級数(学級)

1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	特別支援	計
2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	22

3 教職員数(人)

校長	教頭	教諭	非常勤講師	養護教諭	事務職員	市費	総計
1	2	30	2	2	2	6	48

創造
かしこく

誠実
やさしく

挑戦
たくましく

東郷学園義務教育学校における教育の2大基盤



小中一貫教育

- 平成21年度～現在
- ふるさと教育
- 「ふる・コミュ科」の充実
- 4・3・2制を生かす取組
- 授業交流(教職員)
- 交流活動(児童生徒)
- 成果は不登校児童数の減少
や小中間の教育のつながり
- 学力向上に向けて

人材と資源
活用

コミュニティ・スクール

地域への貢献

- 学校を核とした地域づくり
- 学校運営協議会の設置
- 学校経営への地域の参画
- 地域とは運命共同体
- 5地区コミュニティ協議会との連携
- 児童生徒の参画, 地域貢献
- 成果は学校と地域の一体感
の高まりや相互の協力
- あらゆる機会をとらえての広報

東郷学園義務教育学校小中一貫教育目標

ふるさとを愛し、自ら学び心豊かにたくましく 未来に挑む東郷の子の育成

目指す子供 学ぶ楽しさ、つながる喜び、貢献する満足感を味わう子供

東郷学園義務教育学校 小中一貫教育実践主題

魅力あふれる東郷学園義務教育学校、東郷地域とするために
～開校1年目のチャレンジと検証を通して～

【実践の方針】

- I 施設一体型と4-3-2制を生かした小中一貫教育を実践する。
- II 確かな学力を付ける授業・授業研究・乗り入れ授業を全教職員で実践する。
- III 児童生徒を9年間で育てる教育課程を実践・検証し、データを蓄積する。

継続とチャレンジ

薩摩川内市小中一貫教育の抱たい

乗り入れ授業・教科担任制

8～9ステージ
貢献する満足感

5～7ステージ
つながる喜び

1～4ステージ
学ぶ楽しさ

交流活動

教育課程部会
学力向上・学びの連携部会
生徒指導心の連携部会
～ 思いをつなぐ
心をつなぐ～

ふる・コミュ科部会
教科等部会
事務部会
～言葉をつなぐ
学びをつなぐ～

東郷小・中学校における実践の積み上げ

コミュニティ・スクール

児童生徒の笑顔、学校・保護者・地域の願い、地域の特色（伝統文化・豊かな自然）

小中一貫教育



交流活動は児童生徒の交流
基本はステージ制（1～4, 5～7, 8～9）

乗り入れ授業は教職員の交流
前・後期ともに乗り入れ

ふる・コミュ科で「ふるさと教育」の充実
地域学校協働活動へのつながり

専門分野をつくる教職員の配置

- 教育課程関係で3部会を編成
- その他で3部会を編成

小中一貫教育を推進するための土台
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

やった分、必ず教職生活が充実する

東郷学園義務教育学校は、こんな交流活動を実践中①



3・9交流（前期3年・後期9年）



【ティーベースボール・読み聞かせ・リコーダー練習】

9年生は、前期課程児童にとって、いつでも『あこがれの存在』です。



交流遠足・原子力防災引き渡し訓練



5～7ステージ交流学习・Happy TOGO Day

東郷学園義務教育学校は、こんな交流活動を実践中②



5～7ステージ交流活動

伝統芸能や文化を継承する



東郷文弥節人形浄瑠璃



山田太鼓



藤川太鼓



鳥丸鷹踊り

発表・討議する



実体験する



前期6年生には、前期課程最高学年としての役割を担当させます。

学びをつなげるのための乗り入れ授業

目的は



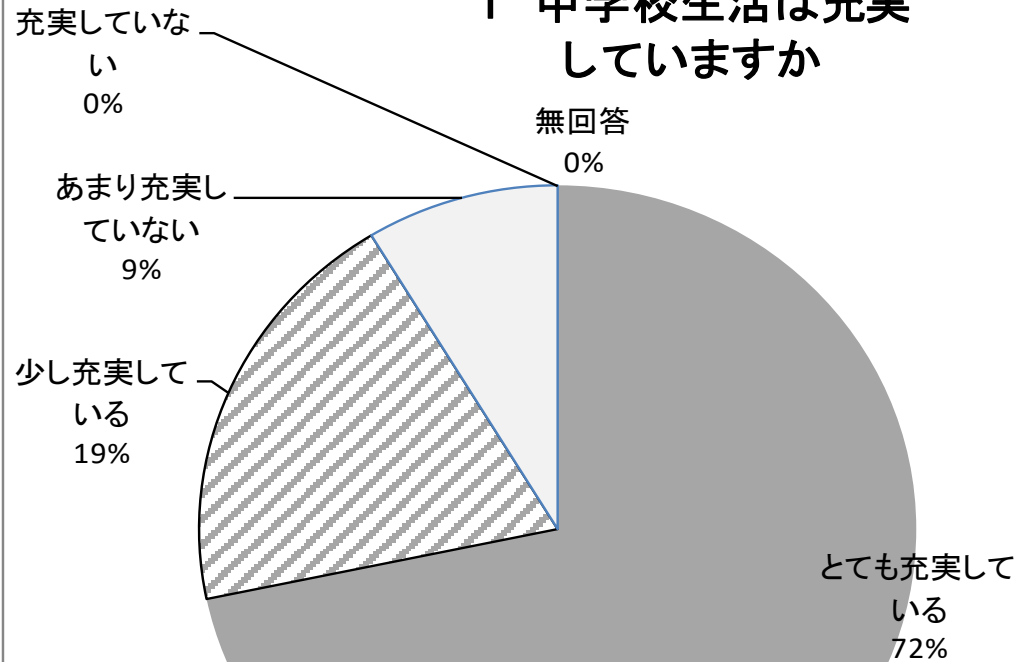
- 1 前期・後期教職員が授業を協力して行い、互いの指導方法を学びます。【教職員の資質向上】
- 2 前期課程の教職員が、卒業した前期課程児童の成長を確かめる場、励ましの言葉をかける場になります。【9年間で育てる意識向上】
- 3 後期課程の教職員が前期課程児童を知る場、前期課程児童にとっては後期課程の教職員を知る場になります。【中1ギャップへの対応】



仕掛けは、小中一貫教育係

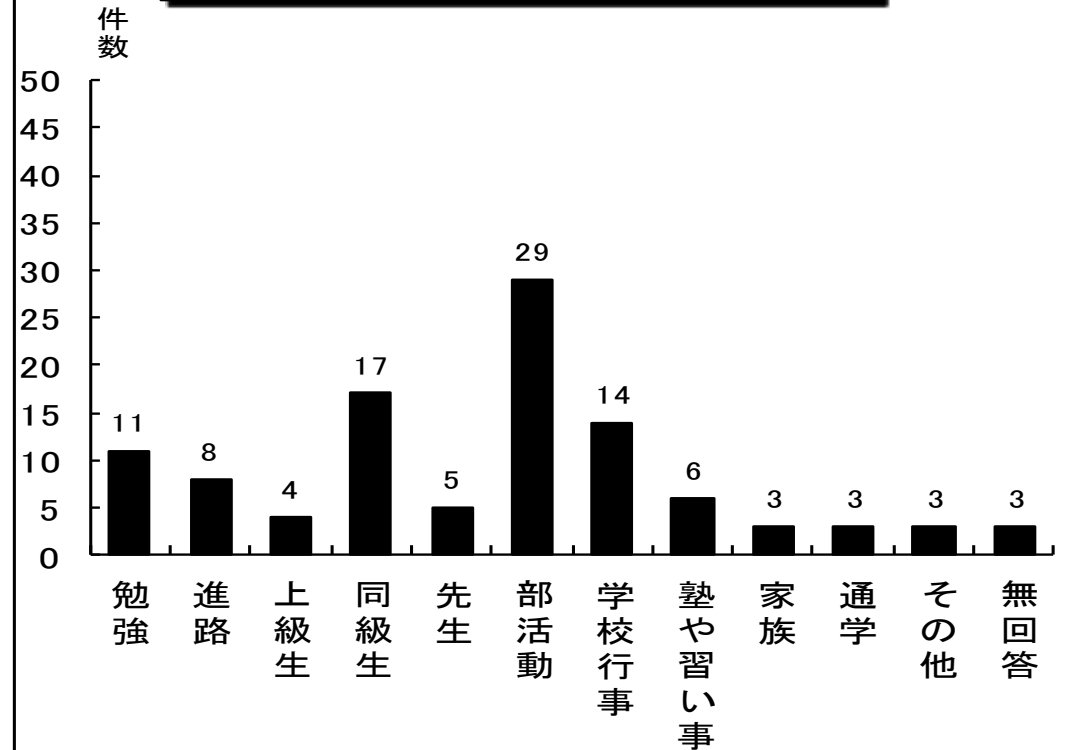
小中一貫教育に関する「学校生活アンケート」H30度版（旧東郷小・中学校分）

1 中学校生活は充実していますか



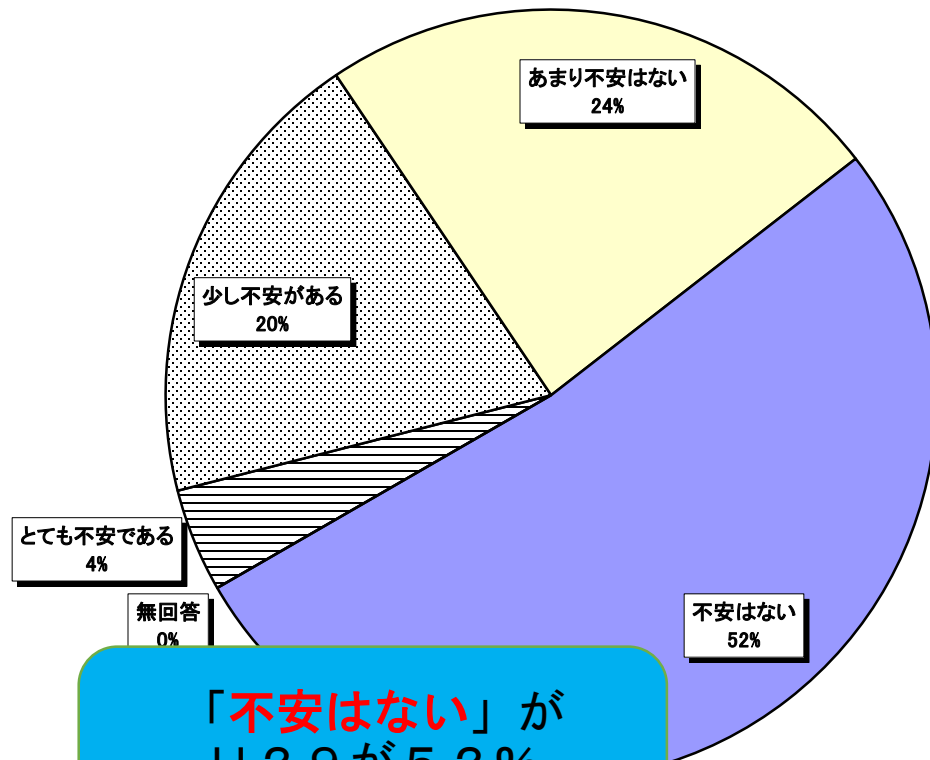
「とても充実」が
H29が52%
H30は72% ↗

2 楽しみにしていること(人)



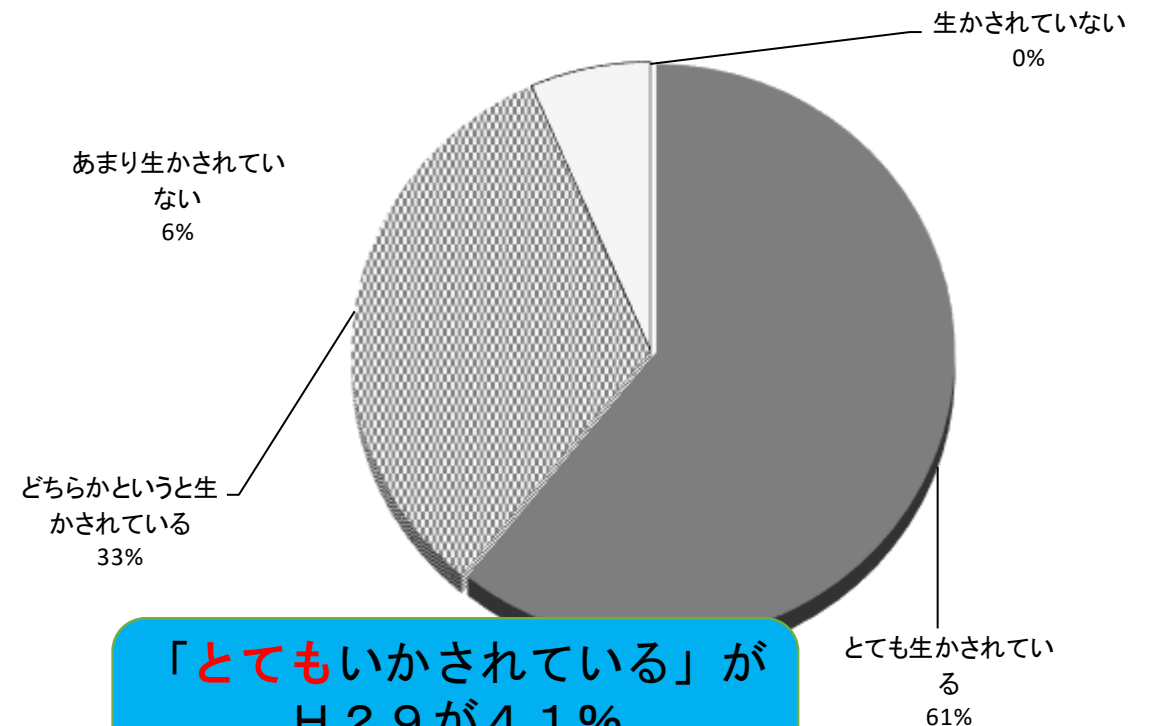
小中一貫教育に関する「学校生活アンケート」 H30年度版（旧東郷中学校分）

3 今中学校生活が不安ですか



「不安はない」が
H29が52%
H30も52% →

5 交流学习が友達づくりに活かされたか？



「とても活かされている」が
H29が41%
H30は61% →

「東郷スタイル」 コミュニティ・スクール紹介リーフレット（広報用）



東郷スタイル：「コミュニティ・スクール」

表

コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」を設置している学校です。学校運営協議会は、学校運営や学校課題に対して広く保護者や地域住民の皆さんが参画できる仕組みです。

育てたい子供像・目指すべき教育ビジョンを、保護者や地域の方々と共有し、学校と地域と子供たちが連携し、目標の実現に向けて一緒に熟議し、協働します。

東郷はひとつ 地域ぐるみで!



- 1 学校、家庭、地域で課題を共有するとともに、地域でどのような子供たちを育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有するために「熟議（熟慮と議論）」を重ねます。
- 2 共有した目標に向かって、子供たち、学校、家庭、地域で「協働」して活動します。



東郷に誇りをもつ子供たち

4つの柱で
こんな子どもに!

コミュニティ・スクールで目指す4つの柱

=自主性を育てる=

自ら考え、判断し、行動できる
子供たち

創造

=確かな学力を育てる=

学ぶ意欲を高め、夢に向かって努力する
子供たち

誠実

=思いやりの心を育てる=

支えあう優しさを持ち、真心と和で接する
子供たち

挑戦

=チャレンジ精神を育てる=

何事にも果敢にやってみようとする
子供たち



私たちは、運命共同体
地域の活性化が学校を支えている
学校の力が地域に伝わっていく

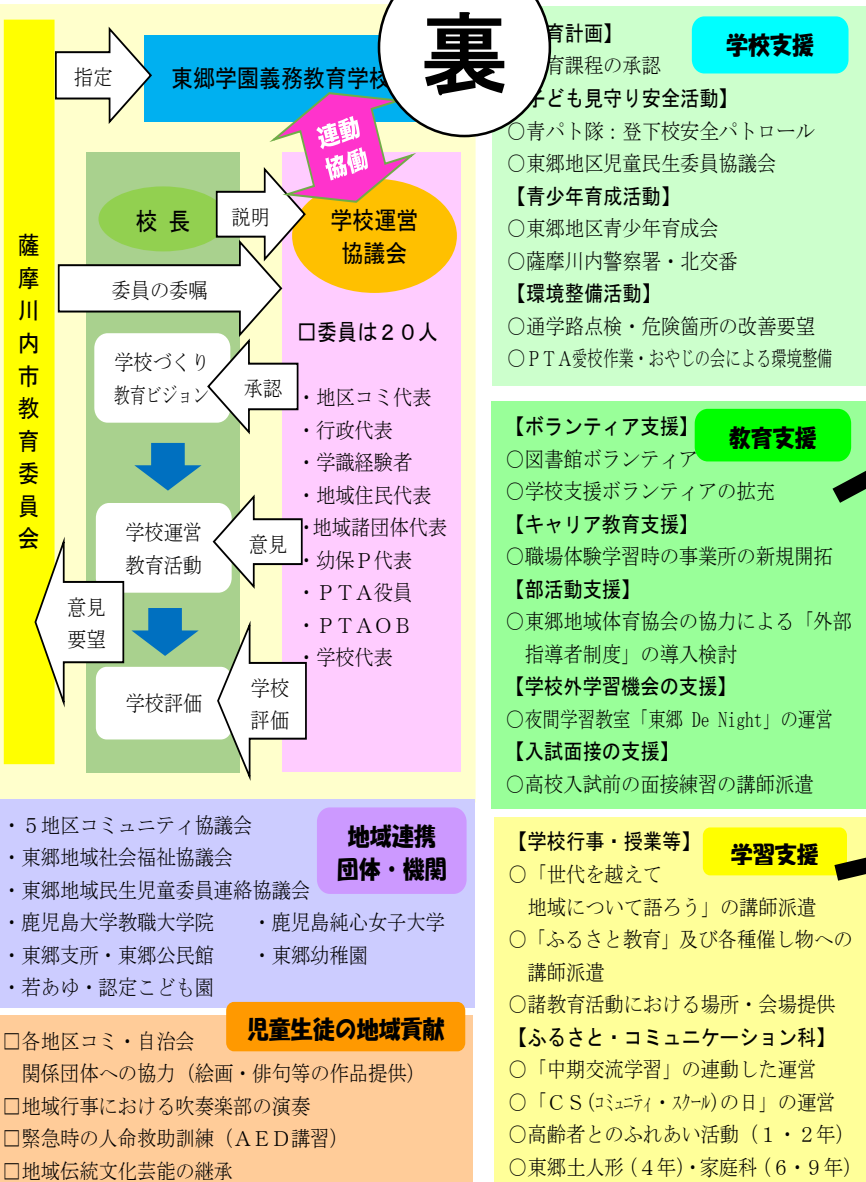
一緒にやりましょう!

- CS構成 東郷学園義務教育学校の開校にあたり、「東郷学園学校運営協議会」と名称を改称して設置
- CS委員 委員は20人、任期は当該年度末まで（再任可）
有識者、各地区コミュニティ協議会長、各地区保護者代表、学校関係者、東郷公民館代表など
- 協議内容 学校運営の基本方針・教育課程の承認・学校と地域の連動の在り方
（把握）共通理解、情報共有、課題把握、調査研究
- 機能 （協働）学校の取組を推進する戦略づくり
（検証）学校評価
- 専門部会 学習支援部会、環境整備部会、地域連携部会

「東郷スタイル」 コミュニティ・スクール紹介リーフレット（広報用）



裏



【ボランティア支援】

- 図書館ボランティア
- 学校支援ボランティアの拡充

【キャリア教育支援】

- 職場体験学習時の事業所の新規開拓

【部活動支援】

- 東郷地域体育協会の協力による「外部指導者制度」の導入検討

【学校外学習機会の支援】

- 夜間学習教室「東郷 De Night」の運営

【入試面接の支援】

- 高校入試前の面接練習の講師派遣

【学校行事・授業等】

- 「世代を越えて地域について語ろう」の講師派遣
- 「ふるさと教育」及び各種催し物への講師派遣
- 諸教育活動における場所・会場提供

【ふるさと・コミュニケーション科】

- 「中期交流学習」の連動した運営
- 「CS（コミュニティ・スクール）の日」の運営
- 高齢者とのふれあい活動（1・2年）
- 東郷土人形（4年）・家庭科（6・9年）

何をしているのか地域住民に伝えよう！

関心をたくさんもってもらおう！

人が入れ替わっても、いつも同じ説明をしよう！

今の広報は未来につながる

東郷はひとつ ～地域ぐるみで～
東郷中学校区コミュニティ・スクールだより

第2号 平成30年8月22日(水)発行

平成30年度第1回東郷中学校区学校運営協議会の報告

- 開催日時 平成30年7月14日(土) 17:30～18:50
- 開催場所 東郷中学校図書室
- 出席者数 委員18人出席
- 協議題
 - ① 各部からの連絡
 - ② 1学期の教育活動の報告・2学期の教育活動の予定
 - ③ 東郷学園義務教育学校について
 - ④ 学校における業務改善

【協議題①：各部から連絡】

学習支援部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 夜間補充教室(東郷 De Night)は9月以降開催したい。運営面について、2年間の反省を踏まえて協議した後、開室したい。 ○ 小学生高学年の参加についても検討中である。
環境整備部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東郷学園の通学路は、小・中学校PTA総会時、保護者に通学図を配布済であるが、地域には配布されていない。周知が必要である。 ○ 「学校だより(9月号)」の配布に併せて、東郷地域全戸にも東郷学園の通学路図を配布して周知したい。《学校から》
地域連携部会	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中期交流学習(小5・6・中1)への学習支援を、東郷小・中学校と一緒にやっている。7月3日(火)の活動事例は下記のとおり。 斧淵：東郷文弥節人形浄瑠璃、歴史探訪 山田：山田太鼓踊り 南瀬：稲作体験 鳥丸：鷹踊り 藤川：藤川太鼓 ○ 中期交流学習発表会：平成30年11月22日(金)東郷中 ○ TOGOの日(東郷の日) 10月13日(土) 午前中 生徒は、各校区旧小学校に登校し、地域の方々と交流を図る。

【協議題②：1学期の教育活動の報告・2学期の教育活動の予定】 ☆裏面に掲載

【協議題③：東郷学園義務教育学校について】

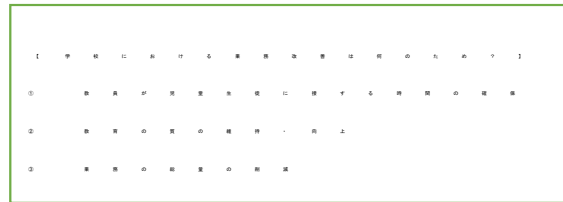
基本構想案について	<p>学校側から「学校教育目標」・「校訓」・「目指す学校像」等について、8月以降から学校と市教委が協議を深めることの報告を受けました。第3回学校運営協議会(10月予定)にて再度報告を受け、協議会内でも協議し、学校側へ意見を述べていくことになりました。</p>
学校行事及び合同行事案について	<p>「運動会・体育祭や始業式・終業式等」は1～9年生の合同開催、「学習発表会・芸術祭や安全教室等」は学年別の開催、「6年生の修学旅行」は検討など、10月には学園としての方向性を示したいと報告を受けました。</p>

コミュニティ・スクールだより (全戸配布)

【協議④：学校における業務改善】

学校側から、学校運営協議会を設置している校区においては、「学校における業務改善」について、今後協議題にしていかなければならないと報告がありました。

学校における業務改善の取組について、下記のことの説明がありました。



学校における業務改善を通して、鹿児島県の学校教育の充実と学校で働く教職員が意欲と能力を最大限に生かし、働きがいをもって教育活動を展開できるようにします。

東郷小・中学校では、県や市の施策を受けて、下記の取組を始めると報告を受けました。

- 1 現在まで取り組んできたこと
 - (1) 出退勤の時間管理 → 教職員の勤務時間を把握し、超過勤務がなくなるように意識の高揚を図ってきた。
 - (2) 校内ラン整備 → これまでの教育活動のデータをパソコンで一括管理することで、業務の効率化を目指してきた。
 - (3) 定時退庁日の設定 → 小学校は金曜日、中学校は水曜日
- 2 これから取り組むこと
 - (1) リフレッシュウィークの設定 → 8月11日～17日は行事等を組まない。
(H30年度から)
 - ・学校に代表出勤者を置かない。
 - ・中学校の部活動は基本的に
- 2 東郷中学校区で取り組んでいること
 - (2) 部活動2日休養日 → 平常日1日、土・日で1日の休養日を設定
 - (3) 校内ラン整備 → これまでの教育活動の企画・課題等をパソコンで一括管理することで、いつでも・だれでも見ることができる。
 - (4) 校務分掌の平等化 → 各係を平等にもってもらう。
 - (5) 行事の精選 → 校内の学校行事等を見直し・削減してきた。

東郷 De Night (自主学習教室)

学習支援部会



<児童生徒の声>

- 通塾したいけどお金がかかる・・・
- みんなと一緒に勉強できるかも・・・

【だったら、学校運営協議会が動きましょう】

□地域に運営スタッフを募集し、児童生徒に学習の場を提供してみよう。

広報用

東郷はひとつ
地域ぐるみで！

令和元年度：東郷 De Night (自主学習教室) 運営スタッフ募集！

H29年度「東郷 De Night」の様子



東郷学園学校運営協議会では、平成29年度に引き続き、東郷学園義務教育学校に在籍する5～9年生の希望者を対象とした無料の自主学習教室を実施するために準備を進めています。

東郷地域の皆さん、東郷の将来を担う子どもたちのために運営スタッフとして参加してみませんか。概要は次のとおりです。

- 1 開講実施日時(予定)**
第1回:令和元年8月1日(木) 18:00～19:30 (予定) ※第2回は8月21日(水)予定
※以降、各月の第1・3週の木曜日に実施します。季節に応じて時間帯は変更します。
- 2 対象者**
東郷学園義務教育学校の児童生徒(5年生から9年生までの希望者)
- 3 会場**
東郷公民館大会議室(2階)
- 4 学習内容**
参加する児童生徒は、既存の問題(学校の副教材等)を持参し、原則として自主学習を行います。
- 5 募集するスタッフ**
受付や生徒管理を担当する運営スタッフ(謝金等はありません。ボランティアになります。)
- 6 その他**
協力いただける方は、保険を適用するため、学校支援ボランティアへの登録をお願いすることになります。

◎運営スタッフとしてご協力いただける方は、
東郷学園【TEL:42-0001】へ連絡をお願いします。

世代を越えて地域について語ろう

令和元年度：「世代を越えて地域について語ろう」実施計画（案）

C S 係

- 1 日時
令和元年7月13日（土） 2・3校時（10:00～11:30）
- 2 場所
東郷学園体育館（メイン・サブアリーナ）・後期課程教室・特別教室棟各教室

- 3 参加者
東郷学園5～9年生247人、教職員、地区住民（地区コミ・自治会40、保護者40）
※地区コミ・自治会は依頼中、実数は未確定
※保護者はPTA四役と総務研修部を中心に、5年以上の保護者へ参加を呼びかける
※東郷学園学校運営協議会の委員へも参加依頼する。

- 4 本年度のテーマ
・「東郷をどんな街にしたいか。どうすればさらに魅力ある街になるか。」
・「東郷学園をどんな学校にしたいか。そのために必要なことは何か」
・「働くって、何だろう。働くために、今何をすればよいだろう。」
・「世代を越えて交流するためには、何を大切にすればよいだろうか」



地域連携部会

<地域の声>

- 子供たちの声を直接聞いてみたいが、機会がない……
- 子供たちはどんなことを考えているのか……

- 【だったら、学校が企画しましょう！】
- 児童生徒と地域住民が本音で語りあう場を教育課程上に取り入れてみよう！
- ◎生徒がマネージメント
- ◎伝統芸能の復活➡練習して披露しよう



- 生徒及び保護者、地域住民は体育館集合
- ～10:10 全体会 ①開会のあいさつ（校長）
②分科会場・日程・本日のテーマの説明（古川）
- ～10:20 分科会場へ移動
- ～11:00 分科会 ①自己紹介
※進行は司会者 ②本日のテーマ説明（司会者）
③テーマについて地区コミや自治会、保護者の思いを語ってもらう
④意見交換

学校運営協議会と学校・地域が連動した実践 ～地域学校協働活動として～



コミュニティ・スクールの日（10月第2土曜日）

地域連携部会



＜閉校した地域の方々の声＞

- 子供たちの声が聞こえなくなって寂しい…
- 前は子供と一緒にたくさんの行事があったがなあ…

【だったら、学校運営協議会が企画しましょう。協力は学校応援団に任せて！】

- 教育課程上に「CSの日」を位置付け、児童生徒と地区コミュニティ協議会で活動を企画していこう。
- 登校場所は、閉校した小学校か地区コミにしよう。
- 東郷地域の関係機関や高齢者クラブ、伝統芸能保存会等の協力ももらって、継続するために幅広く広報しよう。

パネルディスカッション

第1部が児童生徒

「ふるさと東郷」のために、今自分ができること、将来貢献したいこと

第2部が地域住民

- ①今の小・中学生に求めたいこと
- ②学校を支えるサポーターとして

【児童生徒の感想】

- 地域からこんなにも守られている。
- 東郷のことをもっと知らなくては。

本年度は東郷学園が開校したので、「地区住民に学校に来てもらおう」を企画しました

郷土料理の継承(初午だんごづくり)



高校入試模擬面接 面接官は、運営協議会委員や 学校応援団の皆さん



Happy TOGO day
(みんなで昼休みを楽しもう)

【薩摩川内元気塾】の講師選定と広報

企画に対する
講演者の紹介



東郷学園義務教育学校
薩摩川内元気塾 紹介と案内

本年度、3回実施予定の「薩摩川内元気塾」を紹介します。
東郷地域並びに保護者の皆様、御来校いただき、児童生徒とともに御鑑賞ください！会場はいずれも東郷学園アリーナです。

第1段

令和元年10月16日(水)

※当初は10月8日で広報しましたが、都合により16日に変更になりました

10:50～12:20

沢環(さわたまき)さん「歌がたりライブ」

第2段

令和元年11月18日(月)

10:00～11:20

石橋一樹先生による
「サイエンスショー」

第3段

令和元年12月14日(土)

10:00～10:45

鹿児島実業高校新体操部がやってくる

Happy TOGO Day
けん玉・バルーンアート名人が
東郷学園にやってきます！

日時:令和元年11月17日(火)

場所:交流スペース

ゲスト紹介

神尾 貴彦(かみお たかひこ)さん

- ・けん玉道5段・2級指導員 認定指導員講師
- ・日本けん玉協会鹿児島支部長、熊本県支部長
- ・チェスト!けん玉クラブ会長



けん玉のすごい技やバルーンアートでいろいろなものをつくるようすをぜひ見に来てください。

校長として、常に意識していることは、

形骸化しないために
「継続」と「新提案」

同じ土俵で考えよう

地域は子供たち
に温かい声援を
かけている

子供たちが
野球をやって
いる

地域も降りてきて、
さあ一緒に
やりましょう！

子供たちが
野球をやって
いる



どうぞ東郷学園にお越しください！

御清聴
ありがとうございました。

